

第14回夏の研究会

《アフターコロナ～新たな「つながり」を見据えて～》

新型コロナによる災禍を体験した私たちは、芸術文化を成り立たせるための仕組みを再考する必要性に迫られています。劇場・音楽堂等、実演家・団体、統括団体、企画制作者、行政機関、研究者等は、今後どのように連携していくべきでしょうか。2022夏の研究会ではこの課題を、新たな視点を提供する概念『劇場圏』と、「骨太の方針2022」で言及され、今後の担い手の一つと期待される文化芸術の『統括団体』という、二つの切り口から考えます。

PROGRAM

日時：2022年9月4日(日) 13:00(12:30受付開始)～16:30

場所：昭和音楽大学南校舎 A214 会場／オンラインの同時開催(ハイブリッド方式)

総合司会：壬生千恵子 エリザベト音楽大学 音楽文化学科長・教授／(公財)呉市文化振興財団 理事／JaSMAM 理事

13:00～ 理事長挨拶

石田麻子 JaSMAM 理事長／昭和音楽大学 教授・学長補佐

13:10～ 第一部 シンポジウム 『劇場圏』とは何か

「劇場圏」とは、劇場を中心に、その周囲に位置する行政や地域社会の諸団体、芸術マーケットのアクター(関係諸要素)が構成する一種の文化的な磁場です。劇場の公演活動を介して、その周囲に展開するさまざまな機関や団体、個人は、相互に影響を与えあい、それはまた劇場の内部の活動にも作用していると考えられています。

オペラを中心にドイツが歴史的に作り出してきた劇場を取り巻く公共圏を「劇場圏」と名付け、このモデルを通じて日本の舞台芸術の特徴を解き明かすことをめざす研究グループを招き、最新報告を伺います。

登壇者

江藤光紀 筑波大学人文社会系 准教授
辻英史 法政大学人間環境学部 教授
城多努 広島市立大学国際学部 准教授／JaSMAM 会員

モデレーター

石田麻子 昭和音楽大学 教授・学長補佐／JaSMAM 理事長

15:00～ 第二部 パネルディスカッション 「芸術文化の統括団体の役割を考える～コロナ禍を経て～」

法人格からSNSによる緩やかな連携まで、芸術文化の「統括団体」には様々な形が存在します。コロナ禍前の活動は、事業連携に積極的に取り組む団体もあれば、情報交換活動中心の団体もあり、その機能も多様でした。そしてコロナによる危機が到来すると、統括団体は、蓄積されたネットワークを駆使し、情報の拡散、意見の集約、ガイドラインの策定、助成の窓口など、それまでの枠をこえた役割を果たし、行政機関と芸術文化を担う人々との間に新たなパイプを作り上げました。その活動には、行政も注目しています。

コロナ禍3年目に突入した今、アフター／ウィズコロナの課題や人口減少や少子高齢社会というコロナ禍前からの大きな社会課題を見据え、今後の統括団体の役割と課題を考えます。

登壇者

岸正人 (公社)全国公立文化施設協会 専務理事兼事務局長
丹羽徹 (一社)日本クラシック音楽事業協会 常任理事・事務局長／JaSMAM 理事
米屋尚子 文化政策・芸術運営アドバイザー／芸術コーディネーター／EPAD 事務局／JaSMAM 理事

モデレーター

堀田栄作 (公社)関西二期会 事務局長／JaSMAM 理事

※敬称略／内容・登壇者は変更されることがあります。

参加方法 **会場/オンライン共通**

- ・お申し込みは学会ウェブサイトに設置した申込フォームより受け付けます。
- ・また、下記内容を明記の上、電子メールまたはファクスでお申込みいただいても結構です（電子メールの件名は「2022 夏の研究会申込み」としてください）。

- ①お名前、②ご連絡先（電話番号、メールアドレス）、③会員種別、④会場/配信視聴のどちらか

申込先 WEB (Payvent 予定) / e-mail (jimukyoku@jasmam.org) / FAX (044-953-6652)

申込締切 2022 年 8 月 31 日 (水)
[必着。準備の都合上、事前申し込みにご協力ください]

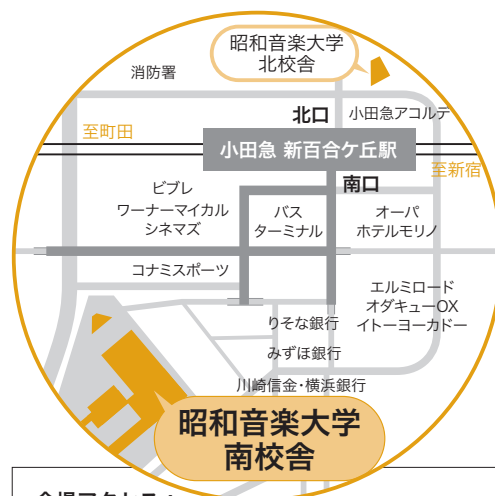
参加費

正会員・賛助会員・団体会員	学生会員	非会員	非会員学生
1,000 円	無料	2,000 円	1,000 円

アーカイブ配信につきまして

会場/配信視聴どちらでご参加いただいた場合でも、研究会終了後、当日の録画をアーカイブ視聴いただける URL をお送りいたします。当日参加しなかった方へのアーカイブ配信の販売につきましては、研究会終了後に実施を検討します。

※映像の編集・確認が済み次第、研究会より 10 日～半月後の配信となる予定です。



会場アクセス：
小田急線【新百合ヶ丘駅】南口より徒歩 4 分

オンライン参加の URL は
お申し込み後に
別途ご連絡します

学会誌バックナンバー電子公開のお知らせ

学会誌『音楽芸術マネジメント』のバックナンバーのうち、一定期間を過ぎたものについて、J-STAGE 上での電子公開が始まりました (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jasmam/char/ja>)。

現在、第 2 号（2010 年発行）掲載の論考が PDF でご覧いただけます。近年オンラインによる情報流通の進展により、学術研究成果のオープンアクセス化（誰でも Web を通じて無料で自由に論文へアクセスできるようにすること）への要請が、公的資金による研究成果を中心に世界規模で拡大しています。当学会でも、会員の研究成果のより広い周知と活用を目指し、販売が終了し準備が整った号から順次電子化をすすめていく予定です。



◆ J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。日本から発表される科学技術（人文科学・社会科学を含む）情報の迅速な流通と国際情報発信力の強化、オープンアクセスの推進を目指し、学協会や研究機関等、国内の 1,500 を超える発行機関による 3,000 誌以上のジャーナルや会議録等の発行と公開を支援しています。

◆ 学会誌『音楽芸術マネジメント』の既刊目次は学会ウェブサイト (<https://www.jasmam.org/publications>) でご確認ください。

◆ 第 9 号（2017 年発行）以降は現在紙媒体のみでご覧いただけます。発売元の水曜社のほか、全国の書店・オンライン書店で販売しております。それ以前の号を紙媒体でお求めの場合は事務局にて取り扱っております（事務局特価 ¥2,700（税込））。